

## 新型コロナウイルス感染症で補正予算

5月21日は兵庫県でも「緊急事態宣言」が解除され、6月19日には県を超えての移動も可能になり、さらに、6月1日より小・中学校が再開されました。まずは子どもの心身のケア、安全を保障することが求められます。議会では、4、5月に臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算(第4次)が採択されました。6月議会では補正予算(第5次・6次)が提案されています。(主なものを掲載)

(第4次補正)

### 児童扶養手当受給者に5万円を上乗せ

※ひとり親家庭や父母のいない子どもには、生活の安定と児童の福祉の増進を目的として所得制限を設けたうえで児童扶養手当が支給されています。新型コロナウイルス感染症で臨時的な支援が必要であるため市独自施策として児童扶養手当受給者に一律5万円上乗せします。

対象者は2820人 予算額1億4,137万円(市独自)

### 店舗賃料支援対象業種の拡大

※今までの業種に加えて、卸売業、不動産業、娯楽業、学習支援業、療術業を対象とします。

①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上高が20%減少②市内に店舗あり

支援額-1店舗(10万円)複数の場合は20万円(いずれも家賃の範囲内)

予算額 1億6,350万円

(第5次補正)

### 児童生徒一人1台タブレット

※小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の児童生徒一人に1台のタブレット端末機を貸与します。

予算額1億6,812万円。約38,000台

(第6次補正)

### (仮称)地域外来・検査センターの開設

※西宮医師会と連携・協力して開設。新型コロナウイルス感染症が疑わしいと西宮市内の診療所の医師が判断した患者について、PCR検査を実施。第5次補正で建屋建設、第6次補正で運営費、7月中に2か所開設、場所については非公開です。

検体採取時間は月曜日～金曜日(祝日除く)13時30分～15時30分 ※感染拡大期は土曜日にも実施します。

検体採取件数は1日最大24件

流れ

市内のかかりつけ医⇒PCR検査センターにて検体採取⇒PCR検査

予算額 人件費、消耗品等、4,881万円

(第6次補正)

### 移動型の検体採取車導入

※施設型の検査所までの移動が困難な場合に、派遣し検体採取を実施する。主には介護や障害者施設。検査員が車両後部のアクリル板越しに手を出し、車外に立つ人の鼻の粘液から検体を採取します。

予算額 車リース代 約400万円

(第6次補正)

### PCR検査機器購入

※現在市では、PCR検査を県立健康科学研究所及び民間検査機関への委託により実施。

購入後の機器は保健所内の検査室に設置され、検査数は10検体から徐々に増やしていき1日最大20検体余りが可能になるとしています。

予算額 検査室の改修、機器購入費等2,060万円

新しい団体制、議会役職、所属委員会

佐藤みち子 健康福祉常任委員会副委員長

野口あけみ 幹事長

総務常任委員

ひぐち光冬 教育こども常任委員

社会福祉審議会委員 広報委員

まつお正秀 団長

民生常任委員

都市計画審議会副会長

